（３）防火設備定期点検業務委託仕様書

１　業務名　　静岡市健康文化交流館「来･て･こ」防火設備定期点検業務

２　業務場所　　静岡市駿河区小鹿二丁目 25 番 45 号

３　対象施設の概要

名 称 静岡市健康文化交流館「来･て･こ」

構 造 鉄骨造３階建

用 途 生涯学習センター、市民交流センター

敷地面積 5,454.80㎡　　建築面積 1,948.61㎡　　延床面積 4,623.12㎡

（内 生涯学習セ 分1,515.89㎡、市民交流セ分3,086.8㎡（1F分1,715.86㎡、2F分1,370.94㎡）

建築年月日 平成 16 年３月 27 日

点検項目　別紙「点検対象施設一覧表」のとおり

４　業務内容

本業務は、建築基準法第 12 条第 4 項の規定に基づき、点検対象建築物の防火設備について、損傷、腐食その他の劣化の状況を点検（以下「定期点検」という。）することを目的とする。

定期点検の内容は、平成 28 年５月２日国土交通省告示第 723 号防火設備の定期検査報告における検査及び定期点検における点検の項目、事項、方法並びに結果の判定基準並びに検査結果表を定める件（以下「国土交通省告示第 723 号」という。）（最終改正令和５年３月 20 日国土交通省告示第 207 号）のとおりとする。

５　共通事項

（１）　定期点検の作業は、次のいずれかの資格を有する者が実施すること。

（ア）一級建築士若しくは二級建築士

（イ）防火設備検査員

（２）　静岡市（以下「発注者」という。）から点検に必要な設計図書等の貸与を受けた場合には、業務を完了した日から３日以内に返却すること。

（３）　業務の実施にあたっては、関連する法令を遵守すること。

（４）　点検のために建物等や第三者の所有する土地、建物等に立ち入ろうとする場合には、あらかじめ当該建築物の管理者、所有者の同意を得ること。

（５）　点検の実施にあたっては、作業員や第三者の安全に十分注意すること。

（６）　業務の実施にあたっては、施設の業務に支障のないよう十分注意すること。また敷地内の通行制限や音が発生する作業をする際は、事前に発注者と十分に協議すること。

（７）　業務の契約書及び仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた事項については、随時発注者と受注者双方が協議して決定し、発注者の承認を受け、業務を実施すること。
あわせて協議内容を記載した議事録（様式任意）を作成し、点検報告書に添付すること。

（８）　点検結果の報告時に、特に不具合等の状況を発見したときは、改善方策等の助言を行い様式 防－１（第三面）により報告すること。

（９）　点検の対象範囲外の部位に異常が確認できた場合は、発注者に報告すること。

６　事前調査

点検対象建築物の図面を確認し、発注者と点検可能日や時間帯等を調整すること。

７　報告書類の提出および助言

（１）　受注者は、点検作業を完了後速やかに、次表のとおり報告書類を提出すること。

No.	提出書類	摘　　要
1	定期点検報告書 （様式　防－１）	・第一面から第三面 ・電子納品対象（PDF 形式）
2	点検結果表 （様式　防－２） （様式　防－３） （様式　防－４） （様式　防－５）	・電子納品対象（PDF 形式）
3	点検結果図（Ａ３版） （様式　防－６）	・配置図、各階平面図及び立面図を作成し、指摘のあった箇所（特記すべき事項を含む）や撮影した写真の位置等を明記すること ・電子納品対象（PDF 形式）
4	関係写真 （様式　防－７）	・点検の結果「要是正」とされた点検項目（既存不適格の場合を除く）について作成すること ・「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば必要に応じて作成すること ・「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略可とする ・写真は当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付すること ・電子納品対象（PDF 形式）
5	検査結果内訳表 （様式　防―８） （様式　防―９）	・電子納品対象（PDF 形式）

6	その他	・点検者の資格の写し ・発注者や施設管理者と協議を行った場合は、協議内容を記録した議事録（様式任意） ・電子納品対象（PDF 形式）

（2） 受注者は、上記の報告書類を書面にて１部提出するほか、電子納品の対象項目については、表に示すファイル形式の電子データにて、電子記憶媒体（ＣＤ、ＤＶＤ等）に保存して１枚提出すること。

8　その他

常閉防火扉の点検時期は 2027 年度（令和９年度実施）とし、３年ごとに点検を実施する。

レ

点検

別紙

2018-01記入

印刷除外範囲チェック	施設番号	施設名称	用途	階数	建築面積	延床面積	点検総数	点検個所内訳						管理所属課							
								常閉防火扉(1回/3年)	随閉防火扉	防火シャッター		耐火クロススクリーン	ドレンチャー等	生涯学習推進課	高齢者福祉課	商業労政課	図書館	保健課	管財課	子供未来課
	1	健康文化交流館「来･て･こ」	集会場・市民交流センター	地上３階	2,127.74 ㎡	4,623.12 ㎡	11 カ所	2 カ所	4 カ所	5 カ所	10 枚			6	1	2				
	計						11 カ所	2 カ所	4 カ所	5 カ所	10 枚									

様式　防－１

定期点検報告書
防火設備

（第一面）

建築基準法第12条第４項の規定により、定期点検の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実に相違ありません。

静岡市長　宛て

年　　月　　日

住所
受注者　名称
氏名

【1．所有者】
【イ．氏名のフリガナ】
【ロ．氏名】
【ハ．郵便番号】
【ニ．住所】
【ホ．電話番号】

【2．管理者】
【イ．氏名のフリガナ】
【ロ．氏名】
【ハ．郵便番号】
【ニ．住所】
【ホ．電話番号】

【3．点検対象建築物】
【イ．所在地】
【ロ．名称のフリガナ】
【ハ．名称】
【ニ．用途】

【4．点検による指摘の概要】
【イ．指摘の内容】　　□要是正の指摘あり（□既存不適格）　□指摘なし
【ロ．指摘の概要】
【ハ．改善予定の有無】□有（　　年　　月に改善予定）　　□無
【ニ．その他特記事項】

様式　防－１

（第二面）

防火設備の状況等

【1．建築物の概要】
【イ．階数】　　地上　　階　　地下　　階
【ロ．建築面積】　　㎡
【ハ．延べ面積】　　㎡

【2.確認済証交付年月日等】
【イ．確認済証交付年月日】　　年　　月　　日　第　　号
【ロ．確認済証交付者】　□建築主事　□指定確認検査機関（　　）
【ハ．検査済証交付年月日】　　年　　月　　日　第　　号
【ニ．検査済証交付者】　□建築主事　□指定確認検査機関（　　）

【3．点検日等】
【イ．今回の点検】　　年　　月　　日実施
【ロ．前回の点検】□実施（　　年　　月　　日報告）　□未実施
【ハ．前回の点検に関する書類の写し】□有　□無

【4．防火設備の点検者】
（代表となる点検者）
【イ．資格】　（　　）建築士　（　　）登録第　　号
防火設備検査員　第　　号
【ロ．氏名のフリガナ】
【ハ．氏名】
【ニ．勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ．郵便番号】
【ヘ．所在地】
【ト．電話番号】
（その他の点検者）
【イ．資格】　（　　）建築士　（　　）登録第　　号
防火設備検査員　第　　号
【ロ．氏名のフリガナ】
【ハ．氏名】
【ニ．勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ．郵便番号】
【ヘ．所在地】
【ト．電話番号】

【5．防火設備の概要】
【イ．避難安全検証法等の適用】
□区画避難安全検証法（　　階）□階避難安全検証法（　　階）
□全館避難安全検証法　□その他（　　）
【ロ．防火設備】　□防火扉（　　枚）　□防火シャッター（　　枚）
□耐火クロススクリーン（　　枚）　□ドレンチャー　（　　枚）
□その他（　　台）

【6．防火設備の点検の状況】
【イ．指摘の内容】　□要是正の指摘あり（□既存不適格）　□指摘なし
【ロ．指摘の概要】
【ハ．改善予定の有無】□有（　　年　　月に改善予定）　□無

【7．防火設備の不具合の発生状況】
【イ．不具合】　□有　□無
【ロ．不具合記録】□有　□無
【ハ．改善の状況】□実施済　□改善予定（　　年　　月に改善予定）　□予定なし

【8．備考】

様式　防－１

（第三面）

防火設備に係る不具合の状況

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

（注意）

１．各面共通関係

①　※印のある欄は記入しないでください。

②　数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。

③　記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入し添えてください。

２．第一面関係

①　受注者の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

②　点検者が２人以上のときは、代表となる点検者を点検者氏名欄に記入してください。

③　１欄及び２欄は、所有者又は管理者が法人のときは、「ロ」はそれぞれ法人の名称及び代表者氏名を、「ニ」はそれぞれ法人の所在地を記入してください。

④　第二面の６欄の「イ」において「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れた場合においては、４欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第二面の６欄の「イ」において、「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、併せて４欄の「イ」の「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

３．第二面関係

①　この書類は、建築物ごとに、防火設備の概要及び当該防火設備の構造方法に係る点検結果について作成してください。

②　２欄の「イ」及び「ロ」は、点検対象の防火設備を有する建築物に関する直前の確認について、「ハ」及び「ニ」は、点検対象の防火設備を有する建築物に関する直前の完了点検について、それぞれ記入してください。

③　２欄の「ロ」及び「ニ」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入してください。

④　３欄の「イ」は、点検が終了した年月日を記入し、「ロ」は、点検対象の防火設備に関する直前の報告について記入して下さい。

⑤　３欄の「ロ」は、報告の対象となっていない場合には「未実施」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑥　３欄の「ハ」は、前回の定期点検の結果を記録した書類の写しの保存の有無について記入してください。

⑦　４欄は、代表となる点検者並びに点検に係る防火設備に係る全ての点検者について記入してください。当該防火設備の点検を行った点検者が１人の場合は、その他の点検者欄は削除して構いません。

⑧　４欄の「イ」は、点検者の有する資格について記入してください。点検者が防火設備検査員である場合は、「防火設備検査員資格者証」の交付番号を「防火設備検査員」の番号欄に記入してください。

⑨　４欄の「ニ」は、点検者が法人に勤務している場合は、点検者の勤務先について記入し、勤務先が建築士事務所のときは、事務所登録番号を併せて記入してください。

⑩　４欄の「ホ」から「ト」までは、点検者が法人に勤務している場合は、点検者の勤務先について記入し、点検者が法人に勤務していない場合は点検者の住所について記入してください。

⑪　５欄の「イ」は、建築基準法施行令第128条の６第３項に規定する区画避難安全検証法により区画避難安全性能が検証された建築物のときは「区画避難安全検証法」のチェックボックスに、同令第129条第３項に規定する階避難安全検証法により階避難安全性能が検証された建築物のときは「階避難安全検証法」のチェックボックスに、同令第129条の２第４項に規定する全館避難安全検証法により全館避難安全性能が検証された建築物のときは「全館避難安全検証法」のチェックボックスに、それぞれ「レ」マークを入れ、「区画避難安全検証法」の場合は区画避難安全性能を検証した階を、「階避難安全検証法」の場合は階避難安全性能を検証した階を併せて記入してください。建築基準法第38条（同法第66条、第67条の２及び第88条第１項において準用する場合を含む。）の規定による特殊構造方法等認定、同法第68条の25第１項の規定による構造方法等の認定又は建築基準法の一部を改正する法律（平成10年法律第100号）による改正前の建築基準法第38条の規定による認定を受けている建築物のうち、当該適用について特に報告が必要なものについては「その他」

のチェックボックスに「レ」マークを入れ、その概要を記入してください。
⑫　５欄の「ロ」は、点検対象の防火設備について、チェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、防火扉、防火シャッター、耐火クロススクリーンについては、個々の扉又はカーテン部ごとにその枚数を計上し、その合計を記入してください。ドレンチャーについては、散水ヘッドの合計の個数を記入してください。「その他」の場合は具体的な内容と台数を記入してください。
⑬　６欄の「イ」は、点検結果において、是正が必要と認められるときは「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該指摘された箇所の全てに建築基準法第３条第２項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは併せて「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
⑭　６欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたとき（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）は、「ロ」に指摘の概要を記入してください。指摘の概要を記入する場合にあっては、当該防火設備が設置されている区画の概要を明記してください。
⑮　６欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）、当該指摘を受けた項目について改善予定があるときは「ハ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入してください。改善予定がないときは「ハ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
⑯　前回点検時以降に把握した火災時の防火設備不作動等機器の故障、異常動作、損傷、腐食その他の劣化に起因するもの（以下「不具合」という。）について第三面の「不具合の概要」欄に記入したときは、７欄の「イ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該不具合について記録が有るときは７欄の「ロ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、記録が無いときは７欄の「ロ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第三面に記入された不具合のうち当該不具合を受けた改善を既に実施しているものがあり、かつ、改善を行う予定があるものがない場合には７欄の「ハ」の「実施済」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第三面に記入された不具合のうち改善を行う予定があるものがある場合には７欄の「改善予定」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入し、改善の予定がない場合には７欄の「予定なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
⑰　各欄に掲げられている項目以外で特に報告すべき事項は、８欄又は別紙に記載して添えてください。

４．第三面関係
①　第三面は、前回点検時以降に把握した防火設備に係る不具合のうち第二面の６欄において指摘されるもの以外のものについて、把握できる範囲において記入してください。前回点検時以降不具合を把握していない場合は、第三面を省略することができます。
②　「不具合を把握した年月」欄は、当該不具合を把握した年月を記入してください。
③　「不具合の概要」欄は、当該不具合の箇所を特定した上で、当該不具合の具体的内容を記入してください。不具合の概要を記入する場合にあっては、当該防火設備が設置されている区画の概要を明記してください。
④　「考えられる原因」欄は、当該不具合が生じた原因として主として考えられるものを記入してください。ただし、当該不具合が生じた原因が不明な場合は「不明」と記入してください。
⑤　「改善（予定）年月」欄は、既に改善を実施している場合には実施年月を、改善を行う予定がある場合には改善予定年月を記入し、改善を行う予定がない場合には「－」を記入してください。
⑥　「改善措置の概要等」欄は、既に改善を実施している場合又は改善を行う予定がある場合に、具体的措置の概要を記入してください。改善を行う予定がない場合には、その理由を記入してください。

別記第一号（Ａ４）　　様式　防－２

点検結果表
（防火扉）

		氏　名	検査者番号
当該検査に関与した検査者	代表となる検査者		
	その他の検査者		

番号	検　査　項　目		検査事項	検査結果			担当検査者番号
				指摘なし	要是正	既　存不適格	
(1)	防火扉		閉鎖の障害となる物品の放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況				
(2)			扉の取付けの状況				
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況				
(4)		常閉防火扉	固定の状況				
(5)		人の通行の用に供する部分に設ける防火扉※	作動の状況				
(6)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置				
(7)			感知の状況				
(8)		温度ヒューズ装置	設置の状況				
(9)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況				
(10)			結線接続の状況				
(11)			接地の状況				
(12)			予備電源への切り替えの状況				
(13)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況				
(14)			容量の状況				
(15)		自動閉鎖装置	設置の状況				
(16)			再ロック防止機構の作動の状況				
(17)	総合的な作動の状況		防火扉（常閉防火扉を除く。）の閉鎖の状況				
(18)			防火区画の形成の状況				
上記以外の検査項目							

特記事項

番号	検査項目		指摘の具体的内容等	改善の具体的内容等	改善（予定）年月

：３年以内ごとに行う項目

（注意）
① この書類は、建築物ごとに作成してください。
② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の８様式第二面４欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が１人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
④ 該当しない検査項目がある場合は、その「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「－」を記入してください。
⑤ 「検査結果」欄は、別表第１（い）欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第１（い）欄に掲げる検査項目について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第３条第２項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が１人の場合は、記入不要です。
⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第１ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第１第２項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。
⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（　）書きで記入してください。
⑫ 各階平面図を別添１の様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添１の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添１の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添２の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添１の様式に明記してください。
⑭ ※欄は、常閉防火扉にあっては、各階の主要なものについてのみ記入してください。
※ 別表第１とは、平成28年５月２日国土交通省告示第723号の別表第１をいう。

別記第二号（A４）　　様式　防－３

点検結果表

（防火シャッター）

		氏　名	検査者番号
当該検査に関与した検査者	代表となる検査者		
	その他の検査者		

番号	検　査　項　目		検査事項	検査結果			担当検査者番号
				指摘なし	要是正	既　存 不適格	
(1)	防火シャッター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況				
(2)		駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※				
(3)			スプロケットの設置の状況※				
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※				
(5)			ローラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況				
(6)		カーテン部	スラット及び座板の劣化等の状況				
(7)			吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況				
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況				
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況				
(10)		危害防止装置（人の通行の用に供する部分に設ける防火シャッターに係るものに限る。）	危害防止用連動中継器の配線の状況				
(11)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況				
(12)			危害防止装置用予備電源の容量の状況				
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況				
(14)			作動の状況				
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置				
(16)			感知の状況				
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況				
(18)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況				
(19)			結線接続の状況				
(20)			接地の状況				
(21)			予備電源への切り替えの状況				
(22)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況				
(23)			容量の状況				
(24)		自動閉鎖装置	設置の状況				
(25)		手動閉鎖装置	設置の状況				
(26)	総合的な作動の状況		防火シャッターの閉鎖の状況				
(27)			防火区画の形成の状況				
上記以外の検査項目							

特記事項

番号	検査項目	指摘の具体的内容等	**改善の具体的内容等**	改善（予定）年月

（注意）

①　この書類は、建築物ごとに作成してください。

②　記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③　「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の８様式第二面４欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が１人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。

④　該当しない検査項目がある場合は、その「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「－」を記入してください。

⑤　「検査結果」欄は、別表第２（い）欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。

⑥　「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第２（い）欄に掲げる検査項目について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。

⑦　「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。

⑧　「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第３条第２項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。

⑨　「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が１人の場合は、記入不要です。

⑩　※欄は、日常的に開閉するものについてのみ記入してください。

⑪　「上記以外の検査項目」欄は、第２第２項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。また、第２第３項の規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。

⑫　「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（　）書きで記入してください。

⑬　各階平面図を別添１の様式に従い添付し、防火シャッターの設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添１の様式は別記第一号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添１の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。

⑭　要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添２の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添１の様式に明記してください。

※ 別表第２とは、平成28年５月２日国土交通省告示第723号の別表第２をいう。

点検結果表
（耐火クロススクリーン）

		氏　名	検査者番号
当該検査に関与した検査者	代表となる検査者		
	その他の検査者		

番号	検査項目		検査事項	検査結果			担当検査者番号
				指摘なし	要是正	既存不適格	
(1)	耐火クロススクリーン	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況				
(2)		駆動装置	ローラチェーンの劣化及び損傷の状況				
(3)		カーテン部	耐火クロス及び座板の劣化及び損傷の状況				
(4)			吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況				
(5)		ケース	劣化及び損傷の状況				
(6)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況				
(7)		危害防止装置（人の通行の用に供する部分に設ける防火シャッターに係るものに限る。）	危害防止用連動中継器の配線の状況				
(8)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況				
(9)			危害防止装置用予備電源の容量の状況				
(10)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況				
(11)			作動の状況				
(12)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置				
(13)			感知の状況				
(14)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況				
(15)			結線接続の状況				
(16)			接地の状況				
(17)			予備電源への切り替えの状況				
(18)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況				
(19)			容量の状況				
(20)		自動閉鎖装置	設置の状況				
(21)		手動閉鎖装置	設置の状況				
(22)	総合的な作動の状況		耐火クロススクリーンの閉鎖の状況				
(23)			防火区画の形成の状況				
上記以外の検査項目							

特記事項

番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善の具体的内容等	改善（予定）年月

（注意）

①　この書類は、建築物ごとに作成してください。

②　記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③　「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の８様式第二面４欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が１人の場合は、記入不要です。

④　該当しない検査項目がある場合は、その「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「－」を記入してください。

⑤　「検査結果」欄は、別表第３（い）欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。

⑥　「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第３（い）欄に掲げる検査項目について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。

⑦　「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。

⑧　「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第３条第２項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。

⑨　「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が１人の場合は、記入不要です。

⑩　「上記以外の検査項目」欄は、第２第２項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。また、第２第３項の規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。

⑪　「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（　）書きで記入してください。

⑫　各階平面図を別添１の様式に従い添付し、耐火クロススクリーンの設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添１の様式は別記第一号、別記第二号又は別記第四号の各々の別添１の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。

⑬　要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添２の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添１の様式に明記してください。

※ 別表第３とは、平成28年５月２日国土交通省告示第723号の別表第３をいう。

別記第四号（Ａ４）　　様式　防－５

点検結果表

（ドレンチャーその他の水幕を形成する防火設備）

		氏　名	検査者番号
当該検査に関与した検査者	代表となる検査者		
	その他の検査者		

番号	検　査　項　目		検査事項	検査結果			担当検査者番号
				指摘なし	要是正	既　存不適格	
(1)	ドレンチャー等	設置場所の周囲状況	作動の障害となる物品の放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況				
(2)		散水ヘッド	散水ヘッドの設置の状況				
(3)		開閉弁	開閉弁の状況				
(4)		排水設備	排水の状況				
(5)		水源	貯水槽の劣化及び損傷、水質並びに水量の状況				
(6)			給水装置の状況				
(7)		加圧送水装置	ポンプ制御盤のスイッチ類及び表示灯の状況				
(8)			結線接続の状況				
(9)			接地の状況				
(10)			ポンプ及び電動機の状況				
(11)			加圧送水装置用予備電源への切り替えの状況				
(12)			加圧送水装置用予備電源の劣化及び損傷の状況				
(13)			加圧送水装置用予備電源の容量の状況				
(14)			圧力計、呼水槽、起動用圧力スイッチ等の付属装置の状況				
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置				
(16)			感知の状況				
(17)		制御盤	スイッチ類及び表示灯の状況				
(18)			結線接続の状況				
(19)			接地の状況				
(20)			予備電源への切り替えの状況				
(21)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況				
(22)			容量の状況				
(23)		自動作動装置	設置の状況				
(24)		手動作動装置	設置の状況				
(25)	総合的な作動の状況		ドレンチャー等の作動の状況				
(26)			防火区画の形成の状況				
上記以外の検査項目							

特記事項

番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善の具体的内容等	改善（予定）年月

（注意）

① この書類は、建築物ごとに作成してください。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の８様式第二面４欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が１人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。

④ 該当しない検査項目がある場合は、その「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「－」を記入してください。

⑤ 「検査結果」欄は、別表第４（い）欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。

⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第４（い）欄に掲げる検査項目について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。

⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。

⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第３条第２項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。

⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が１人の場合は、記入不要です。

⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第２第２項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。また、第２第３項の規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。

⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（　）書きで記入してください。

⑫ 各階平面図を別添１の様式に従い添付し、ドレンチャーその他の水幕を形成する防火設備の設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添１の様式は別記第一号、別記第二号又は別記第三号の各々の別添１の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。

⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添２の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添１の様式に明記してください。

※ 別表第４とは、平成28年５月２日国土交通省告示第723号の別表第４をいう。

別添１

点　検　結　果　図

注）各階平面図を添付し、検査の対象となる防火設備の設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記すること。

様式　防－７　　別添２

関係写真

部位	番号	点検項目	点検結果
			□要是正　□その他
写真貼付		特記事項	

部位	番号	点検項目	点検結果
			□要是正　□その他
写真貼付		特記事項	

（注意）

① この書類は、点検の結果で「要是正」とされた項目のうち、「既存不適格」ではない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③「部位」欄の「番号」、「点検項目」は、それぞれ別記様式の番号、点検項目に対応したものを記入してください。

④「点検結果」欄は、点検の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。

防火扉　検査結果内訳表

名　称		検査日			
所在地		検査者		検査者番号	
立会者		担当者		責任者	

符号					
W					
H					

番号	検査項目		検査事項	判定	特記事項	判定	特記事項	判定	特記事項	判定	特記事項	判定	特記事項
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況										
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況										
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況										
(4)		危害防止装置	作動の状況										
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置										
(6)			感知の状況										
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況										
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況										
(9)			結線接続の状況										
(10)			接地の状況										
(11)			予備電源への切り替えの状況										
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況										
(13)			容量の状況										
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況										
(15)			再ロック防止機構の作動の状況										
(16)	総合的な作動の状況		防火扉の閉鎖の状況										
(17)			防火区画の形成の状況										

【判定欄の記号】
・○ 良　　・× 不良　　・△ 交換推奨　　・ー 該当なし

防火シャッター　検査結果内訳表

名　称		検査日			
所在地		検査者		検査者番号	
立会者		担当者		責任者	

符号		符号		符号		符号		符号	
設置時期		設置時期		設置時期		設置時期		設置時期	
開閉機機種		開閉機機種		開閉機機種		開閉機機種		開閉機機種	
製造番号		製造番号		製造番号		製造番号		製造番号	
W		W		W		W		W	
H		H		H		H		H	
納まり		納まり		納まり		納まり		納まり	
ケース		ケース		ケース		ケース		ケース	
使用頻度	回／日	使用頻度	－　回／日	使用頻度	－　回／日	使用頻度	－　回／日	使用頻度	－　回／日
使用回数		使用回数	－	使用回数	－	使用回数	－	使用回数	－

番号	検査項目		検査事項	判定	特記事項	判定	特記事項	判定	特記事項	判定	特記事項	判定	特記事項
(1)	防火シャッター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況										
(2)		駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※										
(3)			スプロケットの設置の状況※										
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※										
(5)			ローラチェーン又はワイヤロープの劣化及び損傷の状況										
(6)		カーテン部	スラット及び座板の劣化等の状況										
(7)			吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況										
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況										
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況										
(10)		危害防止装置	危害防止用連動中継器の配線の状況										
(11)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況										
(12)			危害防止装置用予備電源の容量の状況										
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況										
(14)			作動の状況										
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置										
(16)			感知の状況										
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況										
(18)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況										
(19)			結線接続の状況										
(20)			接地の状況										
(21)			予備電源への切り替えの状況										
(22)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況										
(23)			容量の状況										
(24)		自動閉鎖装置	設置の状況										
(25)		手動閉鎖装置	設置の状況										
(26)	総合的な作動の状況		防火シャッターの閉鎖の状況										
(27)			防火区画の形成の状況										

【判定欄の記号】
・○　良　　・×　不良　　・△交換推奨　　・－該当なし